

2010.07.23 18:30～ (北海道大学原子核理論研究室)

## 1: 出席者

加藤<sup>a</sup>・木村・千葉・片山・升井・平林<sup>b</sup>・松本<sup>c</sup>・古立<sup>c</sup>・牧永<sup>cd</sup>・椿原<sup>c</sup>・吉田<sup>c</sup>

(a:委員長, b:議長, c:オブザーバー, d:書記)

## 2: 報告

- 2009AR 作成
  - 約 90 ページ+GSYS 原稿(2008AR 72 ページ)
    1. 巻頭言 (大塚氏に依頼) 2 ページ
    2. IAEA センター会議報告(古立・Ichinkhorloo) 5 ページ
    3. インドコーディング会議報告(牧永) 5 ページ
    4. GSYS の解説(鈴木氏) ← 依頼(牧永)
    5. XML について(松本) 5 ページ
    6. NRDF/A (古立・牧永・加藤) 7から8 ページ ほぼ完了
    7. 2009 年度辞書作業部会 (NTX-WG) 報告 (浅野) 12 ページ 完了
    8. 2009 年度に JCPRG から配信された EXFOR ファイル (古立)5 ページ ほぼ完了
    9. 2009 年度に JCPRG から配信された CINDA ファイル (古立・牧永) 7～8 ページほぼ完了
    10. 2009 年核反応データセンター長会議報告 + Progress report (古立)10 ページ
    11. 資料:2009 年度入力データ (吉田・加藤) 12 ページ  
資料:2009 年度の活動日誌 (NRDF 管理運営委員会議事録)16 ページ  
資料:略語一覧 1 ページ
    12. 日本荷電粒子核反応データグループ (JCPRG) 1 ページ
    13. 研究者のみなさまへのお願い 1 ページ
  - AR 原稿のフォーマットについて
    - 原稿のフォーマットを作成してそれを使って原稿作成ができるようにする。  
能登さんがフォーマットを作成、近日中にフォーマットを頂く予定。
  - EXFOR: E063prelim ファイル送信準備中
  - CINDA: CINDA の 6 月分作成、採録論文の検討中
  - NRDF/A: 文献検索システム開発を開始  
今年度 <sup>9</sup>Be のデータ入力を行う
  - Workshop への参加
    - 7/7 の B. Mayer 氏を囲む Workshop にて NRDF/A に関する発表を行った。
  - 理研ミニ WS 開催
    - 開催日時 8 月 6 日 開催場所 理化学研究所
    - 予算に関して

- JCPRG から 6 名参加予定。理研共同研究予算を利用
- JCPRG としてどの様な方向で準備するか?現在の準備状況は?
  1. 加藤:JCPRG の今までの活動について
  2. JCPRG の今後の活動について
  3. RIKEN データの採録状況について  
(採録精度やスピード、採録可否や著者校正などのコミュニケーション面、構造データの採録状況、Coulomb Breakup の採録法など採録上の問題)  
(加藤:RIKEN が投稿した論文のうち何割が実際に採録されているか、RIKEN データの JCPRG で採録されたデータに対する割合、EXFOR における日本のデータの割合(IAEA を参照すればわかるか))
  4. 牧永:NRDF/A について
  5. 松本:不安定核における反応計算について
  6. 椿原:RIKEN データの採録状況について  
(加藤 20+10 分、一人 15+5 分を目安に)
    - EXFOR 形式、NRDF 形式でどの様に採録しているか説明をするべき→椿原
- RIKEN の実験の人に話してもらうようお願いをする
  - 実験の今後の予定、RIBF で採録される構造のデータの具体的形式
  - RIKEN 側のデータベースに対する認識、要望
  - 論文になっていないデータが一体どれだけあるのか?その扱いは?
  - Advisory Committee 所属者へミニワークショップ開催のアナウンスが流れ次第、こちらからも確認を取る
- 研究協定
  - Nuclear Research Center(Mongolia)との研究協定を大学間ではなく、理学部として結ぶことがほぼ決定
- アジア・アフリカ学術基盤形成事業
  - ワークショップに向けて準備中
    - 開催日 2010/10/25-29(月～金)
    - 場所 北海道大学 詳細は、検討中
    - 参加国 中国、韓国、インド、日本
    - 採録を出来る人の養成(学生さん)  
研究員が中心となり学生さんによる採録を進めている  
採録論文は、EXFOR への未送信論文
    - 3カ国のコーディネーターに 1st circular を送った
- 2009 年度新規採録論文
  - 論文数 30 論文
  - 論文番号 D2139-D2149, D2151-D2155, D2161-2164, D2169, D2170
  - 飛んでいる番号は、E063 で送信予定の論文と、現在採録中の論文
  - Table 数 117
- 特別会計
  - 通年事後報告書を作成し提出した
- Neff 氏来札予定。9 月 7 日から 10 月 13 日。
  - 研究会 9 月 30 日から 10 月 1 日の予定

- 物理学会で講演予定

### 3: 議題

- アジア・アフリカ学術基盤形成事業ワークショップの名称
  - "Sapporo Nuclear Data Workshop 2010"
- 理研との共同プロジェクトの調印式をワークショップ時に予定。
- NRDF ファイルの XML 化したファイルを利用するためのシステムの開発について
- JCPRG のツールなどのダウンロード状況？

次回開催予定日時 2010 年 8 月 23 日(月) 18 時 30 分～

次回開催予定場所 北海道大学原子核理論研究室